

## 一般質問通告書

通告順番 1 番

通告者 田代 元気 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 子育て支援日本一のまちづくりについて	(1) 町長の政策である101の具体策の中の子育て支援日本一のまちづくりについて、任期も折り返しを迎えたが、これまでの成果とこれからの課題は。また、この101の具体策以外の取り組みについて町長の考えは。	町 長
2. 教育環境日本一のまちづくりについて	(1) 教育環境日本一のまちづくりについて、これまでの成果と今後の取り組みについて町長、教育長の考えは。	町 長 教 育 長
3. 中学校部活動の地域移行について	(1) 中学校部活動の地域移行について、これまでの取り組みは。	教 育 長

一般質問通告書

通告順番 2 番  
 通告者 時松 智弘 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 任期半ばを折り返して掲げた公約の進捗と、令和5年度の政策重点を伺う</p>	<p>(1) 掲げた101の公約進捗は。</p> <p>(2) 現状その公約は自己評価で何パーセントを達成していると考えているか。</p> <p>(3) 令和5年度の政策重点は何か。町長立候補時から変遷した地域の状況への対策は。</p>	<p>町 長</p>
<p>2. 企業進出ラッシュ、人口増加をうけて伴う町道の整備指針について伺う</p>	<p>(1) 隣町、菊陽町の第2原水工業団地への通勤者約9000人のうち、90%が自家用車を通勤手段としていることから慢性的な渋滞が問題となっている。1年9か月後から稼働を開始するt s m cやJ A S M、その他半導体関連企業への通勤者は7000名を超えると見込まれており、更なる渋滞が懸念される。県はバス事業者と連携しJ R原水駅からシャトルバスを走せるなどの実証実験を始めており、慢性的な渋滞に対する解決策を模索している。しかしこれら交通対策の根本は「高規格道路等の整備」が先ず根幹であると考えている。国道、県道の整備を強く要望するとともに町道の改善や新路線の開拓等、指針は。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 2 番  
 通告者 時松 智弘 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>3. 肥後大津駅北口の安全対策・交通量増加の対策は</p>	<p>(1) 美咲野団地の開発に始まり、現在の室小周辺地区の住宅建設ラッシュに至るまで三吉原北出口線沿線では開発が続いており、今後も子育て世代の転入が高い水準で続くことは明らかだ。                  当然の帰結として高校通学者の肥後大津駅の利用者は増加の一途、また翔陽高校は近年の人気により、町外から通う生徒を駅周辺で見かけている。                  しかしながら駅へのアクセスは自動車での送迎または自転車の利用が多く、朝の利用者が多い時間帯では交通が錯綜していることが調査の結果わかった。                  交通ルール徹底、といった対策では不十分であり道路形状の変更も県道部分の変更が必要なことから難しいことは承知の上で、肥後大津駅北口周辺の安全対策は喫緊の課題と思料する。                  以上の観点から</p> <p>①歩行者の安全対策として、交差点周辺のカラー舗装を行えないか。</p> <p>②自動車の徐行を促すハンプの設置や一時停止遵守を促す対策は。</p> <p>③自転車マナーアップへの呼びかけ運動や啓発活動の実施は。</p> <p>④翔陽高校生徒会と連動し、アンケートの実施やパブリックコメントを募る考えはないか。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 2 番

通告者 時松 智弘 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>4. 子育て支援課所掌の利用者送迎に関わる事業者の安全対策は</p>	<p>(1) 静岡県牧之原市の認定こども園に駐車していた通園バスの車内で、園児の3歳女児が亡くなった痛ましい事故を受け、子育てを推進する自治体自ら現状把握を行うとともに、安全対策を推進する必要があるのではないか。</p> <p>①現在、大津町内で運行されている送迎バスの現状把握は。</p> <p>②国が示す安全対策について、町としての確認体制は。</p> <p>③幼稚園、保育園、認定こども園等以外の送迎バス等の安全対策は。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 3 番  
 通告者 豊瀬 和久 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 手話言語条例について</p>	<p>(1) 早期制定に向けた取り組み状況は。</p> <p>(2) 聴覚障がい者等支援アプリの導入と窓口カウンターにモニターの設置を。</p> <p>(3) 窓口案内システムの番号表示ディスプレイの改善は。</p> <p>(4) 軽度・中度難聴児補聴器購入費助成の制度拡充が必要ではないか。</p>	<p>町 長</p>
<p>2. 多子世帯の給食費・副食費の補助について</p>	<p>(1) 保護者の経済的負担を軽減するため、中学生以下のお子さんが3人以上いる世帯の第3子以降の給食費又は、副食費を補助すべきではないか。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 3 番  
 通告者 豊瀬 和久 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
3. 人権啓発福祉センターについて	(1) 人権啓発福祉センターの役割を拡充し、町民に最も身近な行政窓口として、申請受付業務、証明書発行業務、納付業務などの窓口サービスができるよう、デジタル技術を活用するなどの機能強化をするべきではないか。	町 長
4. 高齢者の居場所である「通いの場」について	(1) 「通いの場」を維持し内容を充実させるためには道具や遊具の確保や情報提供などの支援体制の強化と助成金支援の拡充が必要ではないか。  (2) 地域と役場との課題検討の場が必要ではないか。  (3) 地域で交流し、支え合い関係の構築を促す、ボランティアポイント制度を創設すべきではないか。	町 長
5. 土地区画整理事業について	(1) 将来を見据えた住みやすいまちづくりのため、町主導での道路や公園などの公共施設と宅地の総合的な整備を行うべきではないか。	町 長

## 一般質問通告書

通告順番 4 番

通告者 佐藤 真二 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. ふるさと納税基金の設立</p>	<p>(1) ふるさと納税による寄附金受入れが増加している。                      喜ばしいことではあるが、財政規律や予算策定における不具合も生じてきている。                      ふるさと納税を有効に活用するため、基金化や活用事業の枠づけを提案する。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 5 番  
 通告者 山部 良二 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 町長の強力なトップセールスについて</p>	<p>(1) 施政方針の中に、基本方針にある「民間の知恵と活力を生かす先進技術」や「民間企業の業務手法の活用・具体的な制度と仕組み化」最後に「強力なトップセールス」は一環した考えだと述べておられるが、今現在のTSMC関連の誘致などは町長のトップセールスとは言い難い。やはり「スポーツの森駅の新設と周辺エリアの整備・活性化」を成し遂げて初めてトップセールスと言えるのではないか。                      以上踏まえ「阿蘇くまもと空港アクセス鉄道スポーツの森分岐」及び「スポーツの森運動公園へのロアツ熊本本拠地（ホームタウン）誘致」を提案する。</p>	<p>町 長</p>
<p>2. 子育て支援・教育環境日本一のまちづくりについて</p>	<p>(1) 「子育て支援・教育環境日本一のまちづくり」について、町長は子育て支援については、2項目について重点的に取り組むと施政方針演説の中で述べているが、もちろん2項目は大変重要で前に進めていく必要があるが、しかし喫緊の課題は戦争や円安・燃料高騰などによるスタグフレーションへの対策が最重要課題ではないか。                      以上踏まえ小学校・中学校給食費無償化が財政的に難しいのであれば、まずは「中学校給食費無償化」から始めるべきではないか。町長の見解を問う。</p>	<p>町 長</p>



## 一般質問通告書

通告順番 5 番

通告者 山部 良二 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>3. 人生100年時代を見据えた福祉について</p>	<p>(1)「人生100年時代を見据えた福祉」についてですが健康寿命を延ばすための政策が重要となってくると思う。そのためには早期発見・早期治療・健康づくりが重要となると考えるが、以前提案した認知症の診断費用を全額無料などの認知症安心プロジェクトを再度提案する。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 6 番

通告者 山本 富二夫 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 台湾の都市との友好都市を結ぶことにより、台湾住民の暮らしや考え方をすることで、お互いに信頼関係を図るべきだ</p>	<p>(1) 今後TSMC関連で台湾企業の進出が考えられるとおもうのでより相手の住まい環境や日本人と台湾人との考え方を、友好都市を結ぶ事で大津町も台湾との交流により多く知ることができると思う。 従業員の方や家族の皆様もストレス発散の為に、大津町総合体育館や人工芝でのサッカーも利用されると思うし、台湾・日本人同士の交流の場を希望された場合、友好都市を結ぶ事で、親しみを持って大津町施設を借りられ、そこでの町民との交流が生まれると思うので、まずは台湾を知る事が大事であると思うので友好都市を結ぶ考えはあるのかを町長に問う。</p>	<p>町 長</p>
<p>2. 大津町浄化センターからの汚泥のたい肥化に早期に取り組む考えはあるか</p>	<p>(1) 農家の経営環境は益々厳しさを増している、肥料も高騰で1.5倍以上の上昇であるし、燃料代などの高騰も農家経営を圧迫している。 大津町浄化センターからの汚泥約1700トンを処分する為に年間約3,000万円支払っている。 資料2を見て頂きたい、佐賀市下水浄化センターでは、平成21年9月まで脱水汚泥を全量産業廃棄物として年間1億円かけて、処分していたが平成21年10月からは、脱水汚泥を原料として肥料の製造を行い農家の皆さんに、1kg当たり2円で販売を開始した。 大津町浄化センターからの汚泥をたい肥化し、農家に販売を目指す時期だと思う、佐賀市のように国からの補助金を活用することで実現可能と感じたが、汚泥をたい肥化の取り組みを町長に問う。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 6 番

通告者 山本 富二夫 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>3. からいもの生産農家の高齢化が進む中で、一部からいもの生産と販売及びからいもの品種切り替えにより、より負担を軽減する取り組みを考える時期に来ている</p>	<p>(1) からいもの生産農家は箱詰め販売をする為には、20kgコンテナを6回から8回ぐらい持ち運ばなければならない。高齢者農家には大きな負担であり、収穫機械はあるけど生産を止める農家も今後、増えてくると思う。資料3を、霧島酒造の生産工程を見学させて貰ったが、収穫農機で泥の付いたまま工場へコンテナ袋のままで持ち込まれている。大津町も酒造メーカーへのコンテナ袋販売を斡旋すべきと思う、JAを利用しない農家の事も考えて取り組む考えはあるかを問う。</p>	<p>町 長</p>

## 一般質問通告書

通告順番 7 番

通告者 荒木 俊彦 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. ソーラー発電の地産地消に支援が必要ではないか	<p>(1) 本町において再生可能エネの可能性は、太陽光発電が一番であるが残念ながら脱炭素のためにも必要な森林が伐採され、メガソーラーによる利益の大半は大手資本に持ち出され、その利益の原資は住民の電気料上乗せ負担である。国は来年度から工事用などの屋根を利用した発電の買取価格の上乗せをする方針であり、発電量拡大は歓迎される。</p> <p>再生可能エネの地産地消で地域住民の利益、地域経済の振興につなげる施策が必要ではないか。例えば農家のソーラーシェアリング(農地利用)、畜産などの屋根利用の発電など、農家が取り組みやすい実例を示して普及を進めたらどうか。</p>	町 長
2. 酪農・畜産農家への再度の支援が必要ではないか	<p>(1) 畜産業の中で特に酪農・畜産農家の経営がかつてなく厳しいと聞いている。畜産農家は政府主導で規模拡大をしてきたが、規模が大きいほど飼料の高騰と牛の価格下落で苦しい状況が続き、運営する資金が高額のため、廃業もままならない。</p> <p>早急に支援の具体化が必要ではないか。町内の状況も聞きたい。</p>	町 長

## 一般質問通告書

通告順番 8 番

通告者 大塚 益雄 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 通学路における安全対策は万全か</p>	<p>(1) 通学路の安全点検については、各小学校校区の青少年育成協議会や学校PTA、地域のボランティア等で危険個所の報告や点検が行われており、教育委員会や問題個所の担当課、警察による改善や対策が実施されているが、一部未改善の個所がある。特に三吉原道路の美咲野から楽善交差点までの間の歩道は、小・中・高校の通学路になっていて、桜の並木周りの縁石や桜の根の成長に伴い、縁石周りが膨れて歩道が狭かったり、歩道が年々盛り上がり、非常に危険である。4月からは、新1年生も入学し通学する。早急な対策を</p> <p>①地元では、縁石に蛍光スプレーを塗布したり一時的な安全対策を講じているが、恒久対策を早急にすべきではないか。</p> <p>②桜並木については、三吉原北出口線と本田技研南側道路にあり桜の名所となっており多くの方が花見に来られており守っていくべきだと思う。今後、調査を実施していき他の類似市町村の先進事例を参考に桜の木を守りながら見直し改善すべきではないか。</p>	<p>町 長</p>

## 一般質問通告書

通告順番 8 番  
 通告者 大塚 益雄 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>2. 大津町ゲートウェイとしての役割について</p>	<p>(1) 本年熊日新聞に各首長の新年のあいさつが記載されました。その中で金田町長は、「幸せを感じられる大津町へ」という見出しを付けて、「一人ひとりが幸せを感じながら、住み続けたいと思えるまちづくりに取り組んでいます。」そしてさらに、本年3月に新空港ターミナルビルの完成、4月には肥後大津駅からスクールバスが発着予定の東海大臨空キャンパス開校、夏頃には南阿蘇鉄道の肥後大津駅までの乗り入れなど新たな動きが目白押しです。本町ゲートウェイ（玄関）としての重要性も益々高まります。未来像を共有しながら、町民の皆様と共同でまちづくりに取り組んでまいりますので、町民の皆様の温かいご支援をお願い申し上げますとありました。</p> <p>①本町のゲートウェイ（玄関）としての役割をどのような視点で重要と考えているか。また、町長が考える未来像とはこのゲートウェイに特化するとすればどのようなものか伺う。</p> <p>②また、その未来像の実現のために、具体的な取組みをどのように実現していくのか伺う。</p>	<p>町 長</p>

## 一般質問通告書

通告順番 9 番  
 通告者 永田 和彦 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 多国籍時代の町政運営について	(1) TSMC台湾企業世界シェア50%以上の半導体製造メーカーの熊本進出で中国人をはじめ、多くの外国人居住者が今後も増え続けるだろう。町営住宅への外国人入居者が増えているが国柄の違いで平和を乱してはならない。国際情勢と各国の事情や文化、考え方や姿勢を情報収集しなければならない。	町 長
2. 指定管理者制度の問題点について	(1) 独占禁止法および販売預託商法に抵触しないか。東京オリンピック、パラリンピックの汚職事件と類似する。	町 長
3. 施政方針と政党政治について	(1) 町長は公正中立に行政運営しなければならない。政党政治を町政に反映してはならない。	町 長